

2015年度 第7回 浅虫セミナー

2015年10月6日（火曜日）13時30分より
浅虫海洋生物学教育研究センター会議室にて
（青森県青森市浅虫坂本9）

橋本主税博士

JT生命誌研究館・主任研究員
大阪大学大学院理学研究科・招聘教授

原腸形成運動： 両生類の理解から脊索動物の共通理解へ

要旨：

両生類の原腸形成は、胚発生過程の中でも最も良く知られた現象のひとつであろう。しかし、シュペーマンのランドマーク的発見から90年、日本でも戦前から教科書に掲載されているモデル図が、実は実際の形態形成運動を正しく説明していないようである。これまで、原腸形成運動は脊椎動物種間で進化的に広く保存されているものの、両生類は進化の袋小路に入ったと考えられるくらいに、その他の脊椎動物種とはその動きが異なっているように言われていた。しかし、新しい視点から見ると、むしろ脊椎動物の原点はここにあると考えても良いくらいに両生類と他の脊椎動物の原腸形成運動との普遍性が見えてきた。本講演では、これまでの両生類モデルの何がどう間違えて解釈されていたのか、どのように見直せば正しい姿に迫ることができるのかについてお話しさせていただく。また、時間が許せば、脊椎動物の原腸形成に共通する組織運動についても議論をさせていただきたい。

問い合わせ：

東北大学大学院生命科学研究科
浅虫海洋生物学教育研究センター
美濃川拓哉 takuya@m.tohoku.ac.jp
017-752-3394